

青森市立浪岡病院新築工事

【計画段階】

【景観審議会資料】

青森市立浪岡病院

(1) 事業概要

既存の浪岡病院は、総面積14,472.97㎡の敷地に鉄筋コンクリート造5階建て延べ床面積6,070.13㎡の本館と、鉄筋コンクリート造平屋建て延べ床面積2,391.45㎡の精神科病棟を有していた。
 本館は昭和45年9月に建設され、昭和58年5月の日本海中部地震で被害を受け災害復旧工事により補強したものの、施設全体の老朽化が著しい状況にある。
 こうした現状や今後の浪岡地域の医療需要を考え、青森市地域医療に関する有識者会議や浪岡自治区地域協議会での意見を踏まえ、救急告知病院としての役割を維持した上で、一般病床35床の規模で建替を行うこととして、「新浪岡病院建設基本構想」を策定し、平成30年度に設計業務に着手した。

	既存		⇒	計画	
	構造・階数	規模(㎡)		構造・階数	規模(㎡)
本館	鉄筋コンクリート造5階建	6,070.13		鉄筋コンクリート造2階建	約4,000
精神科病棟	鉄筋コンクリート造平屋建	2,391.45			

(2) 整備スケジュール

平成30、31年度の2か年で設計業務を実施し、平成31、32年度の2か年で新築工事を実施する予定である。

(3) 建設予定位置図

当該施設の建設予定地は、下図のとおり青森市浪岡大字浪岡字平野に位置する。



(4) 敷地概要

<地名地番> 青森市浪岡大字浪岡字平野180番
 <敷地面積> 14,472.97㎡
 <用途・防火地域等> 都市計画区域内(非線引き)
 第一種中高層住居専用地域
 防火地域指定なし
 <建ぺい率・容積率> 建ぺい率:60% 容積率:200%

(5) 景観形成

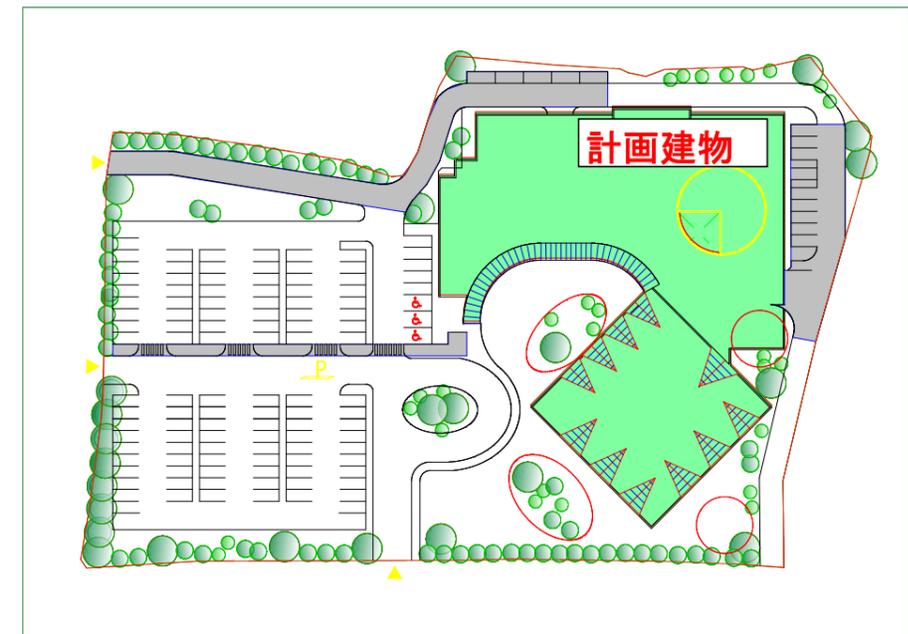
当該施設を建設する浪岡地区の景観方針は、自然と調和した市街地景観の創出を図るとともに、中世の館、浪岡城跡などの豊富な歴史・文化的資源や、りんご畑などの特色ある自然景観の保全を図る区域であり、建設予定地は市街地景観(住宅地域)に含まれる。

当該施設は、戸建住宅地区に立地しているため、周辺の落ち着いた住宅街のスカイラインを守りつつ、近隣の住環境の向上に寄与する建物を目指す。
 ・建物の高さは住宅街の高さに合わせ、平屋建て一部2階建てとする。
 ・開放的でモダンな外観とし、地域の景観向上に寄与する。

(6) 色調コンセプト

敷地内は植栽に努め、緑豊かな施設を目指す。建物は背景の植栽の緑とのコントラストを考慮し、茶系の色合いとし、市街地としての景観と自然との調和を図った計画としている。

(7) 配置計画図



(8) 写真

新浪岡病院は、既存の精神科病棟を解体した跡地に建設し、その後
既存本館を解体し駐車場に整備する。



写真位置図



(9) 立面図

青森市立浪岡病院立面検討案

検討用模型

